

(様式 3 の 2)

つくば市グローバル化基本指針の背景・経緯等

つくば市企画部企画・国際課国際室

○ 指針を必要とする背景・提案に至るまでの経緯

「つくば市国際化基本指針」は、つくば市が取り組むべき国際化施策のガイドラインとして、平成23年5月に策定された。

策定から5年が経過する中、圏央道や成田国際空港との交通インフラの整備、ハイレベル・フォーラムやG7茨城・つくば科学技術大臣会合等、行政も積極的に関わった国際会議の開催、在住外国人や海外からの旅行者のさらなる増加など、つくば市を取り巻く国際情勢が大きく変化している。

こういった現状に合わせてとともに、「つくば市未来構想」や「つくば市戦略プラン」等との整合性を図りながら、今後5年間、つくば市が取り組むべきグローバル化施策のガイドラインとして、名称を「つくば市グローバル化基本指針」とし、新たな指針を策定するもの。

○ 他の自治体の類似する計画等の事例

- ・土浦市多文化共生推進プラン
- ・いばらきグローバル化推進計画

○ 未来構想における根拠又は位置付け

「つくば市未来構想」の理念の一つ「人を育み、みんなで支えあうまち」を実現するための個別施策として、「国際化の推進」は位置づけられている。

○ 関係法令及び条例等

つくば市科学技術振興指針

○ 計画等の実施により予測される影響及び効果(算出できるものはコストを含む)

多文化共生のための各種施策が、関係機関・団体等の連携・協力の下、効果的・効率的に展開されるとともに、「つくば」のブランド力をいかした海外との経済交流や、市の魅力を積極的に発信することによる国内外からの人材や投資の呼び込みが期待できる。



つくば市グローバル化基本指針（案）の概要



経緯及び趣旨

つくば市は、研究者や留学生を始めとする約8千人の外国人が居住している一方で、日本人住民の中には海外生活経験者も多いことから、多様な文化を包含している都市といえます。市では、平成23年5月に「つくば市国際化基本指針」を策定して、外国人が安心して生活できるよう、関係機関・団体とともにその支援に取り組んできました。そして、国籍、言語等の違いにとられない多文化共生のまちづくりを推進してきました。

しかしながら、市民意識調査等の結果から、そのようなまちづくりがまだまだ不十分であるとの課題が指摘されています。さらには、この間、大きな国際会議の開催や、外国人観光客の増加、国際バカロレア教育の充実など、つくば市を取り巻く国際情勢は大きく変化してきました。

このような状況を踏まえて、つくば市は、「国際化」から、より地球規模、世界的な視野でとらえる「グローバル化」を進めるべく、平成32年度までの今後5年間、市が取り組むべきグローバル化施策のガイドラインとして「つくば市グローバル化基本指針」を策定しました。

そして、「つくば市未来構想」が未来の都市像とする「住んでみたい 住み続けたい まち つくば」の実現を目指します。

理念 **世界が集い、世界に羽ばたくまちの創造** (P.12) ()内は本編におけるページ数

基本施策

- 1 多文化共生社会が実現するまち** (P.13)
日本人と外国人が互いに理解し合う、多文化共生社会の形成を目指していきます。
- 2 国際連携により、世界に羽ばたき、つながるまち** (P.13)
研究・教育機関や企業、市民・関係団体等との幅広い連携を構築し、海外との交流をさらに推進します。
- 3 グローバルな魅力の発信により、人や投資が集うまち** (P.13)
つくばが世界に誇る「科学・技術研究」、「教育」、「環境」などを世界に発信することで、国内外から人や投資を呼び込みます。

個別施策と主な取組

- (1) 外国人を対象とした相互理解の形成** (P.14)
 - ① **外国人への生活支援の充実** (P.14)
国際交流員や留学生交流員を配置し、窓口における通訳サービスや、多言語版ホームページの内容をより充実させます。
さらに、外国人向け相談窓口の利便性の向上や、非常時における、医療通訳ボランティアの派遣やSNSによるリアルタイムな多言語での情報発信を行っていきます。
 - ② **日本語学習機会の充実** (P.15)
外国人のニーズに応え、日本語学習機会の拡充に努めていきます。
 - ③ **公立学校におけるグローバル化対応能力の強化** (P.15)
ボランティア等により外国人児童・生徒の日本語指導を行うなど、公立学校のグローバル化対応能力を強化していきます。
 - ④ **都市施設等のグローバル化対応の推進** (P.15)
公共施設、交通機関、道路等の案内板に外国語又はローマ字ルビを併記するなど、都市環境の整備を推進していきます。
 - ⑤ **国際交流イベントの推進** (P.16)
国籍を問わず誰もが参加できるイベント、特に、言葉が通じなくても交流ができるスポーツイベントを、外国人が参加しやすい工夫としながら推進していきます。
 - ⑥ **関係機関、市民団体等との連携の強化** (P.16)
市内で活動している民間国際交流団体の連携をより一層強化していきます。
- (1) 世界とつながるネットワーク化の促進と人材育成**
 - ① **世界とつながるネットワークづくり** (P.20)
科学技術振興に資する国内外の都市との交流機会の拡大を図るため、つくば市の特性をいかした世界とつながるネットワークづくりを展開していきます。
 - ② **グローバルな教育環境による世界に羽ばたく人材の育成** (P.21)
一貫した教育環境が整いつつある国際バカロレア教育プログラムを、関係機関と連携を図りながら支援していきます。
さらには、教育日本一を目指したつくばの教育や、姉妹都市交流により異文化理解を促進するとともに、世界に羽ばたく人材の育成を図ります。
- (2) 世界をフィールドとする経済活性化の推進**
 - ① **グローバルMICEの誘致推進** (P.21)
G7茨城・つくば科学技術大臣会合開催等にかかる支援やおもてなしの経験、さらには充実した宿泊施設等をいかし、研究機関や大学、企業における新たな国際的連携・協力関係構築の拡大を支援するために、グローバルMICEの誘致を推進します。
 - ② **企業の海外進出支援** (P.22)
各国で開催されるビジネスフェアにおいて、市内のベンチャー企業等の国際的イベント等への出展や、海外進出を支援することにより、市内経済の活性化を促進します。
- (1) つくばならではのグローバルな魅力の発信**
 - ① **つくばのグローバルな魅力を再発見し内外に発信する** (P.23)
科学技術だけでなく、つくばのグローバルな魅力を多角的にリサーチ、再発見し、国内外に発信することで、内外の旅行者の増大を図るとともに、定住化へとつなげていきます。
 - ② **世界に向けたPRの推進** (P.23)
海外向けPRツールの充実を図るとともに、海外におけるPRの機会を積極的に活用し、関係機関等と連携・協力しながら世界に向けたPRを積極的に推進します。
- (2) 人や投資を呼び込みつくばの発展につなげる**
 - ① **グローバル化教育の充実を世界に発信する** (P.23)
公立学校における外国人児童生徒への支援や、国際バカロレアの充実などを世界に発信し、家族での滞在を希望する優秀な研究者等の誘客へとつなげていきます。
 - ② **各種イベントをいかし人や投資を呼び込む** (P.24)
さまざまなイベントに、姉妹都市等からの物産や企業の出展を促すなどして経済的な流通を促進するとともに、海外の優良企業の誘致など、人や投資の呼び込みにつなげていきます。
 - ③ **インバウンドに対応した環境の整備** (P.24)
商業施設及び観光施設内における外国語対応、外国人に対する対応法に関するセミナーの開催など、外国人旅行者に対応した施策をさらに推進していきます。

- (2) 市民を対象とした国際社会への適応能力の育成**
 - ① **市民における多文化共生社会への意識啓発** (P.17)
多文化共生社会にかかるパンフレットの配布や国際交流イベントなどを通して、市民の意識啓発を図ります。
外国人の増加に伴い多様化している宗教に対応するため、ハラールなどへの理解や、飲食店における対応メニューの提供促進などを進めます。
 - ② **地域コミュニティの活性化** (P.17)
地域コミュニティにおいても、外国人が地域コミュニティに参加しやすい環境の整備や、外国人の参加意識の高揚を図っていきます。
 - ③ **学校における国際教育の充実** (P.18)
学校教育における国際理解講座などにより、国際感覚にあふれた能力を育む国際教育を充実していきます。
 - ④ **市民における国際感覚の涵養** (P.18)
市民がグローバルな感覚を養い、異文化を理解し受け入れられるよう、日本人と外国人とが気軽に交流できる機会を創出していきます。
 - ⑤ **姉妹都市をいかした市民交流の促進** (P.19)
姉妹都市・友好都市とのスポーツ交流や、オリンピック・パラリンピックホスト国として海外都市の選手を招致して青少年と交流するなど、国際感覚の涵養とともに次世代に感動を与える事業を推進します。
 - ⑥ **行政のグローバル化対応** (P.19)
市職員が国際感覚とグローバルな視点を持って対応できるよう、研修の実施や専門職員を配置するなど組織体制の整備に努めていきます。

